

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 04 12	中期総合計画主要施策番号		2-03 3-13	担当課	部・課	農政部園芸畜産課	
事業名		安全・安心畜産サポート事業					内線	3175	
							E-mail	enchiku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	国の牛肉トレーサビリティシステム(生産履歴情報追跡可能システム)に、給与飼料等の生産履歴情報、農場の衛生検査等を加えて、安心・安全性を追求した長野県独自の「信州あんしん農産物」を推進し、長野県産牛肉のブランド化を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 消費者は安全・安心な牛肉を求めているが、給与飼料の情報や衛生状況については確認できる全国一律のシステムはない。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 国が推進している牛肉トレーサビリティシステムでは、牛の生産履歴情報(出生情報や異動情報)だけが蓄積されている。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 国のシステムに給与飼料等の情報を加えた「信州あんしん農産物」システムの普及による安全・安心情報の提供。							
	事業内容	「信州あんしん農産物」システム参加農場の食中毒起因菌の衛生検査及び飼育管理記録の確認							
実施期間	H16 ~		根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、トレーサビリティシステム信州モデル事業実施要領 等					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	「信州あんしん農産物」牛肉の普及(認知度アップ等)を図る。		・信州あんしん農産物参加農場を50戸に増やすこと。(H19実績 32戸) ・消費者などからの県HPへのアクセス数(生産情報の検索等)が1万件程度となること。(H19実績 10,360件)			・信州あんしん農産物参加農場は50戸となった。 ・信州あんしん農産物HPへのアクセス数は、年間9,038件であった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	4,605	3,583	3,583	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	4,522	3,440		実施方法		直接
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	3,045	1,879	2,023	歳出節別		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.15	1.15	1.15	内訳等	・旅費 158 ・需用費 3,300	
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	12,733	11,661	11,804	(単位: 千円)		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	信州あんしん農産物参加農場の衛生検査		件	1,663	1,599	1,560			
							信州あんしん農産物牛肉販売 343頭		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・安全・安心な畜産物に対する消費者意識は年々高まっている。 ・牛肉の安全性に公的機関が関与することでシステムの信頼性が高まることから県の関与が必要である。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・「信州プレミアム牛肉」の生産農場を信州あんしん農産物参加農場としていることから、高いニーズがあるものの、参加農場の拡大、流通業者との検討・調整を行うなど、大幅な対象頭数の拡大を図る必要がある。						